

皆さま、こんにちは。
府中教会、アンドレアです。

街には、クリスマス・イルミネーションが灯され、クリスマス・キャロルが流れ始めました。人々の心の中には、いろいろな意味で少しずつクリスマスへの準備が始まっているようです。

さて、本日のマルコ福音書は「神の子イエス・キリストの福音の始まり。」という言葉から始まっています。当時のユダヤ人は、救い主を待ち望んでいました。マルコは、これから綴る福音書が、まさに、その救い主が教えてくださった福音（善き知らせ）ですよ、と冒頭から人々に伝えています。そして、マルコは、「荒れ野に叫ぶ者の声がする」という預言者イザヤ書を引用し、これから救い主がおいでになる準備する者として、洗礼者ヨハネのことを伝えます。ユダヤ人たちは、ヨハネが伝える「『主の道を整え、その道を歩む道をまっすぐにせよ』」という言葉聞き、彼の所に来て罪を告白し、洗礼を受けます。彼は、これから来られる救い主を待つための準備をしていたのです。

本日の福音は、私たち一人ひとりにも同じように、この言葉を伝えているようです。私たちが主をお迎えするために「主の道を整え、その道を歩む道をまっすぐにせよ」を心にかけているでしょうか。私たちは、私たちの中に、救い主イエス・キリストをお迎えするため、主が来やすいように、心の道をまっすぐにしたいものですか。

